

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公表番号】特表 2019-507418 (P2019-507418A)  
【公表日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-010  
【出願番号】特願 2018-536751 (P2018-536751)  
【国際特許分類】

G 0 6 F 30/23 (2020.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/50 6 1 2 H

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 26 日 (2019.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ処理装置が実行する、多孔質材料における流体の音響挙動に対する前記多孔質材料の屈曲度の影響を表すデータを処理する方法であって、

前記データ処理装置のデータ処理プログラムが、前記多孔質材料における前記流体の屈曲度の影響を含む音響挙動のモデルであって前記流体の音速を示す時間変数を含むモデルを生成するステップと、

前記多孔質材料における前記流体の前記音速に基づいて前記モデルの前記時間変数を再スケーリングするステップと、

前記モデル内の前記時間変数の前記再スケーリングに基づいて、前記多孔質材料の前記屈曲度の影響を含む前記音響挙動をシミュレートするステップと、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記多孔質材料の前記屈曲度の前記影響を含む前記モデル内の音響挙動を決定するステップをさらに含む、  
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記音響挙動は、音波の消失及び伝播を含む、  
請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記時間変数を再スケーリングするステップは、1 つのシミュレーション時間ステップによって表される時間を調整するステップを含む、  
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記音響挙動をシミュレートするステップは、前記多孔質材料を通る又は該多孔質材料内の流体流をシミュレートするステップを含む、  
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記モデルは、前記多孔質材料の音響損失を考慮した運動量シンクを含む、  
請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記流体の公称音速と、前記多孔質材料における前記流体の前記音速とに基づく、  
請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記流体は要素によって表され、該要素は、前記流体内の質量、密度、運動量、圧力、速度、温度、エネルギー、質量流束、運動量流束及びエネルギー流束のうちの 1 つ又は 2 つ以上を含む、  
請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記モデルの温度を再スケーリングするステップを含む、  
請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記モデルの圧力を再スケーリングするステップをさらに含む、  
請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記流体の速度を再スケーリングするステップをさらに含む、  
請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 12】**

前記時間変数を再スケーリングするステップは、前記多孔質材料の抵抗を再スケーリングするステップをさらに含む、  
請求項 9 に記載の方法。